

♪ みんなにこにこ！笑顔につながる おてつだい♪
チームみねっぴ～の とくべつしえんだより



自分のペースで
一步一步...



お子さまの自信や意欲につながる 「小さな成功体験」



～「小さなこと」に 目を向け、皆で「大きく喜び合うこと」を 大切にしながら～



朝夕の過ぎゆく風に、季節の変化を感じることも多くなりました。

学期末を迎える学校では、様々な機会を捉え、学びの成果やさらなる課題を確かめたり、自分の成長を振り返ったりしながら過ごしております。

令和7年度の折り返し地点となるこの時期、大人である私たちも、日々の生活を振り返ることで、お子さまにとってよりよい成長につながる支援を探っていききたいものです。

今回は、「おうちでできる つまずきのある子の子育て」(つげ書房新社)の著者である丹野節子先生のメッセージを参考に、「育ちの基本」として「たいせつなこと」を取り上げたいと思います。同じお子さまであっても、毎日、お天気のように違う様子があるかもしれませんが、お役に立てましたら幸いです。

「育ちの基本」として「たいせつなこと」を 5つ ご紹介!!

①成功体験につながる工夫

「親子で一緒に」「先生と一緒に」
「お手本を見ながら」「自分一人で」など、お子さまの様子に合わせ成功体験につながる工夫をします。

②思いを 言葉に 置き換える

お子さまの表情やしぐさを読み取り
「言葉」や「ジェスチャー」などを添えながら、少しずつ、お子さまの生活に寄り添った「言葉」を増やしていきます。



③「手がかり」で 分かりやすく

望ましい「行動」を引き出せるよう、「見る」「聞く」「触る」「動く」など、お子さまの得意なことをいかした「手がかり」を選んだり組み合わせたりして工夫します。



④「いいこと起こるぞ」で やる気にする

「～したら、できるよ。」等、してほしいことを肯定的目標に示し「いいこと」をゴールに決め、お子さま自身が活動の見通しがもてるようにします。

⑤親子でも違う 感覚の世界

感じ方は、人それぞれ違う脳の仕組みによるものです。様々な違和感が、「イライラ」や「疲労」につながるため、必要な休息や感覚に応じた配慮が必要です。自分に合った工夫を相談でき、安心して生活できる経験を積めるようにします。

★ご理解いただきたい「たいせつなこと」★

生まれつきの脳の仕組みや様々な理由から、次のような困難を抱えながら、生活されているお子さまもいらっしゃいます。(診断は医療相談で行われます。)

「たいせつなこと」は、診断の有無にかかわらず、すべてのお子さまが、「小さな成功体験」を実感でき、自信をもって生活できるようになることです。

お子さまの健やかなる成長のため、それぞれの困難さに応じた配慮や自己調整力につながる工夫を見つけられますよう、何かご心配なことなどがありましたら、学校や市教育センターなどへご相談ください。(市教育センターの相談は、学校で紹介状を作成します。)

【タイムスリップ現象】⇒ 過去の記憶が、先ほどあったかのように想起される...

【モノトラック】⇒ 一度に複数の情報を処理しようとすると混乱する...

【細部優位認知特性】⇒ 細部への強いこだわり、表情や状況把握認知が困難である...

【不安・恐怖】⇒ 因果関係の理解が難しく、決めつけや思い込み等で強く不安がる...

【感覚調整障がい】⇒ 視覚、聴覚、触覚等の感じ方はそれぞれ違うため落ち着かない...

【結び付け障がい(想像力の障がい)】⇒ 額面通りの解釈で、物事の背景や関連付け、気持ちを読み解くことなどが難しい...

診断は、お子さまにレッテルを貼ったり、決めつけたりするものではありません。それぞれ違うお子さまの個性に応じたよりよい支援を見つけるためのものです。